

★ 正統キリスト教と、異端・カルト宗教を見分けるポイント

キリスト教には、カトリック、プロテスタント、東方教会など、たくさんの教派があります。どの教派であれ、正統キリスト教の信仰は「ニカイア信条」にもとづいています。

- ◎ イエス・キリストを、神の御子と信じる
- ◎ イエス・キリストの、十字架刑による死と復活を、事実として信じる
- ◎ 三位一体の神を信じる（全能の父なる神 御子イエス 聖霊）

上記 3 点のうち一つでも欠けていれば、正統キリスト教ではない、異端・カルトです。

★ 使徒信条しとじんじょう 使徒信条(ニカイア信条)から外れているのが異端・カルト

使徒信条は、ニカイア信条をベースに、正統キリスト信仰の内容を簡潔に表明しています。カトリック、プロテスタントは使徒信条を守っています。東方教会は使徒信条ではなくニカイア信条を守っていますが、キリスト信仰の基本(上記 3 点)は同じです。正統なキリスト信仰を守るためにも、可能ならば使徒信条は暗記しましょう。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめ処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、かげ陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、
全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこより来りて生ける者と死にたる者とをさば審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
からだ身体とこしえのよみがえり、永遠いのちの生命を信ず。 アーメン

★ 要注意！ 異端・カルトにありがちな偽教義の例

×例1 イエス・キリストを神の御子と認めない、立派な人間として敬う

×「イエスは善人の模範、預言者、愛のヒーラー、道徳教師、世直し屋……」←嘘です。

【真実】 イエス・キリストは神の御子です。 ※使徒信条、『第一ヨハネ』4 章

×例2 イエス・キリストの十字架の死と復活を否定する

×「イエスは死んだという幻を見せただけ、実は死んでいない」←嘘です。

×「イエスは仮死状態から蘇生しただけ」←嘘です。

×「イエスの死と復活は文学的なシンボル表現だ、事実ではない」←嘘です。

【真実】 イエスが死亡し、三日目に復活したのは、事実です。 ※使徒信条、『第一コリント』15 章
イエスが私たちの罪をすべて背負って十字架刑で死んだから、私たちの罪は完全に赦されました。もしイエスが完全に死んでいなければ、人類の罪は残ったままで、一人も救われません。

×例3 信徒勧誘、伝道、献金などの信仰ノルマをこなさないと救われぬ ←一切不要

【真実】 キリストの救いは完全。 私たちはキリストの救いを「恵み」として受けとるのみ。

信者の努力、修行、宗教行為などは不要。救い主キリストを信じる信仰によって救われます。

「人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰による（ローマ3:28）」

×例4 宗教団体の教祖・幹部が、キリストの生れかわりと主張する ←偽キリストの典型。

【真実】 復活したキリストは聖霊としてわたしたち一人ひとりに宿られます。

この意味で、キリスト者は全員キリストといえます。 ※『ヨハネ福音書』14～16章

×例5 聖書の言葉を、神様の御心として理解しようとせず、魔法の呪文のように扱う

×「聖書は神の御言葉だから、御言葉のパワーで悪霊払い、病気治しができる」←嘘です。

【真実】 奇跡的なことが起こるのは、聖書の言葉のパワー、言霊、音霊の働きではなく、神様ご自身(聖霊)が、神様のご意志で働かれたからです。

神の御言葉は、人間の願いを叶える魔法の呪文ではありません。 ※『使徒言行録』3章、8章